

米沢市立病院と三友堂病院 医療連携法人設立

2023年両病院隣接 同時開院へ 人生100年時代へ 地域医療の充実

公益社団法人米沢有為会米沢支部の理事・諮問委員合同会議、第2回置賜地区高校生小論文コンテスト表彰式、講演会と交流芋煮会が、10月26日(土)午後2時から東京第一ホテル米沢で開催されました。

表彰式では、10名の受賞者のうち出席した8名に、大滝則忠会長から賞状と副賞が授与され、講評が述べられました(詳細は会誌第69号)。

講演会は、講師に米沢市病院事業管理者の渡邊孝男氏を迎え、「米沢市の地域医療の将来展望～三友堂病院との連携、2023年新病院開院予定～」と題して、米沢市立病院60年の歴史から医療方針と実績、置賜における医療の現状と課題、両病院の機能分化(市立病院：急性期機能、三友堂：回復期機能・在宅医療)と連携強化、2023年(秋頃)の両新病院同時完成・開院、地域医療の担い手としての市立病院の将来展望などについてお話いただきました。

渡邊孝男氏は茨城県出身で、昭和49年東北大学医学部卒業。日本脳神経外科学会専門医、医学博士。昭和57年米沢市立病院脳神経外科医長。平成5年同第二診療部長。平成7～25年参議院議員(3期)。平成25年市立病院長。平成28年より現職。



第 40 号

令和 2 年 2 月 15 日

発行者

(公社)米沢有為会米沢支部

支部長 中川 勝

米沢市金池5-2-25

☎ 0238-22-5111



米沢支部

副支部長

種 村 信 次
たなむら しんじ

難しい時代の地域を支える人材育成

米沢有為会は創立百三十年を迎え、先人が積み重ねてきた貴重な育英事業について、時代の変化を受けて活動の見直しを行いました。女子学生も興譲館寮利用対象に含めることや育英資金の一部返済免除などの検討を図り、また、置賜地域の人口減少や少子化に対応して、地域振興事業についても地元高校生に直接働きかけて、小論文コンテストや若人フォーラムを実施しました。この成果は大変好評であり、会員、地区高等学校はじめ地元関係先のご支援、そして米沢支部役員の多大なご尽力をいただいた賜です。今後に向けての有為会活動の充実が図られたものと考えています。

さて、このような事業を実施する背景について考えてみると、二つの心配があります。一つは、数年前から2020東京五輪まで比較的順当な経済が続くものの、2020年以降は、少子高齢化や不動産不況、そして中期にわたって財政問題の影響が深刻化すると心配をしていました。また、地方行政も地方交付金や国政の枠組みの中で、これまでの行政感覚から抜け出せず問題が深刻化し、地方は大変厳しい状況を迎えるという心配です。もう一つは、経済成長時代には若者

たちが東京など大都市へ流れても地域産業は維持され、安定した状況が続きました。しかし、少子化が続く中では、国内経済が脱皮し国際経済市場の中で発展しない限り、財政と人口両面から、大変な窮状に陥って行くのではないかと、という心配です。

この二つは共に極めて難しい課題ですが、本来なら地域でこれを緩やかに調整していくことは可能はずです。心配なことはこれを政治がやることと考え、市民が流れに任せてしまうことです。経済や社会がそれぞれの立場で行動を変え、改革を図っていかなくては政治は変わらないのです。

このように考えると、テーマの「難しい時代の地域を支える人材育成」は極めて大切なことであり、米沢有為会の役割もまた大変重要です。若人フォーラムや小論文コンテストはこのような考えを基に実施しました。

今後有為会では、小論文コンテストは継続します。これに加えて、若人フォーラムも探究型教育成果発表の機会と合わせて、地元高校と連携し、何とか継続したいものです。会員皆様のお知恵とご協力を是非お借りしたいと考えています。

まちの話題

「オールながい産業博2019」を開催

当長井商工会議所(当所)は、商工会議所法に基づいて設立された地域唯一の総合経済団体で、昭和50年4月に設立されました。当所では商工業の振興に力を注ぎ、大企業も小企業もみんな力を合わせて、まちを住みよく、働きやすくしようとする目的の下に活動・事業を展開しています。

さて、当所事業の一つが「オールながい産業博2019」であり、各種団体の協力を得て開催してい



ます。この産業博は会員事業所が一堂に会し出展(出店)すること

で、まちの魅力発信と長井の産業を広く周知することを目的とし、博覧会をイメージして開催しています。

今年度は10月19日、タスビルと道の駅・川のみなと長井を会場に、690人を超える来場者で賑わいました。出展(出店)事業所数は24事業所で、製品・商品やポスター、パネルを展示して自社をPRしたり、飲食ブースでは地域の食材を使ったメニューを販売したりしました。



当所会員は589事業所に所属し、業種ごとに6つの部会にグループینگされています。「オールながい産業博2019」では、個別の出展の他に部会ごとの催しも企画されました。工業部会では2足歩行ロボットの操作体験、商業部会では市内餅店の協力の下、つきたて餅ふるまい、建設部会ではミニ住宅セットの棟を上げ、模擬建前を実施してちびっこが餅まきを体験しました。生活衛生・観光部会では、長井の名所の一つ

に挙げられる三階不動滝参拝ツアー、金融・保険部会ではお金の体験広場として、貯金箱作りを開催、情報・サービス部会ではコミュニケーションFM放送局であるおらんだラジオの協力を得て、公開生放送を行いました。

また、ステージイベントではダンスパフォーマンス、じゃんけん大会、シンガーソングライターのライブなども繰り広げられました。他にも共催団体である西置賜産業会企画の

「コマ回し体験・対決トーナメント」、ドライブシミュレーター体験、害獣撃退装置の展示なども行われ、多彩な催し物で来場者を楽しませました。



今年度の産業博では、「キャッシュレス・ポイント還元事業」を広く周知しようと、「キャッシュレス決済体験」ブースを設けました。PayPayやゆうちょペイ、やまざんカードサービス、NTT東日本から協力をいただき、スマ

ホ決済や電子マネーの使い方について体験してもらいました。本産業博は市内外に当地域の魅力や産業力を発信する絶好の機会と考え、次年度も趣向を凝らした産業博を企画したいと考えておりますので、多数のご来場をお待ちしております。

新しく会員になられた方々

氏名	会員区分
後藤 仁	個人賛助会員
佐藤 紀孝	個人賛助会員
酒井 龍太	個人賛助会員
飯塚 まつ子	個人賛助会員
倉嶋 尚	個人賛助会員
栗原 裕俊	個人賛助会員
石田 充	個人賛助会員
佐藤 正	個人賛助会員
柴崎 浩	個人賛助会員
平塚 志信	個人賛助会員
地主 好	個人賛助会員
佐藤 敬一	個人賛助会員
佐藤 清一	正会員
矢尾板 泰子	正会員
中川 宏生	正会員
岡田 昌彦	個人賛助会員
安部 徳朗	個人賛助会員
渡部 晃央	個人賛助会員
佐藤 洋三	個人賛助会員
窪田 俊昭	個人賛助会員
大橋 茂人	個人賛助会員
花輪 実	個人賛助会員
原 岩男	個人賛助会員
(南東北データ通信機)	法人賛助会員

リレー随想 ②⑦

興譲館寮よ永遠なれ

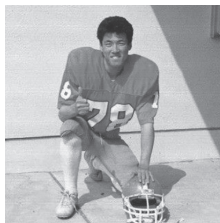
株式会社紀伊國屋 代表取締役
佐藤 知由

皆さんこんにちは。米沢市丸の内
で米沢牛と加工肉の店を営んでおり
ます佐藤知由と申します。私が米沢
有為会という存在を知ったのは高校
を卒業して、1年間の苦勞の末、東
京での新生活を迎える準備をしてい
た昭和60年の2月だったろうと思
います。それまでも目にする機会は
あったのだと思いますが、気にも留
めていませんでした。東京で一人暮
らしを始めるに当たり、両親に金銭
面での負担をできるだけかけないよ
うにという思いもあったのでしょ
う、昭和60年4月に東京興譲館に入
寮しました。以来、入寮時の仲間、
後輩諸君、先輩の方々と今でも親し
くさせていただいております。先日
も東京で当時の仲間と新年会を行
い、あつという間に30年タイムス
リップしたような感覚になりました。
また、SNSを通じて、当時寮
祭に招待した友人らとつながること

もでき、大変懐かしく感じています。
そんな東京興譲館寮の昨年の入寮
希望者が0であったことを伺い、大
変驚きました。実は私の次男も昨年
から東京の大学に入学し、一人暮ら
しを始めたところです。彼にも興譲
館寮を薦めたのですが、大学に近い
方が良いということで選択肢から外
れてしまいました。寮生活で学ぶこ
とは多く、自治寮ならではの経営感
覚や年代を超えた人とのつながりな
どがあげられます。ぜひ一人でも多
くの人に入寮していただきたいと思
います。

大学卒業後は関西でしばらく働き
ましたので、有為会とは疎遠になっ
ていましたが、米沢に戻り、先輩方
からのお誘いもあり賛助会員として
活動をさせていただいております。
年に数回ではありますが、多くの先
輩方と交流する機会をいただいてお
ります。また、青少年らの努力し活
躍する様子を近くで感じることがで
き、大変嬉しく思います。

米沢有為会並びに興譲館寮が永続
して発展する
ことを祈念し
て、随感とさ
せていただき
ます。



学生時代

～ 活躍する会員紹介 ～ ②⑧

高畠町教育委員会 教育長

丸 山 信 也

さん



400m陸上トラックや人工芝のグラ
ウンド、テニスコートも整備しました。
「耕・結・愛」を教育理念として文武
両道の精神、切磋琢磨し自らを高め
る生徒、命を大切にする誇り高い人
間性を育む教育に、教職員はもとよ
り、地域、保護者一体となって頑張っ

ています。生徒達は、すばらしい教育環境のもとで、
たくましく成長し、大きな成果をあげています。

Q3. 今後の教育行政の課題と抱負についてお聞かせ
ください。

A3. 現在、急激に少子化が進んでおり、学校教育の
適正規模適正配置等基本計画の策定が今後の課題
となります。学校が本来果たすべき役割である子
ども達の教育を最優先に考え、「ふるさとを愛し
志高い子どもを育てる」ため、地域の理解を得な
がらしっかりと考えていきたいと思っています。また、
崇高な教育活動に思う存分取り組むための教職員
の働き方改革についても対策を講じていきたいと
思います。

本町は、童話作家「浜田広介」の生誕の地であ
り、命を大切に、深い思いやりの心がみなぎる
町を標榜しています。

ありがとうございました。今後ますますのご活躍を
ご期待申し上げます。

Q1. 高畠町の学校教育の特色についてお聞かせくだ
さい。

A1. 本町では十数年来「強い選手である前に、りっ
ぱな選手であれ」の合言葉を校内外での学習活動
や体育活動等での目標にしています。人としての
あり方・生き方の基本となる何事にも、真面目に
ひた向きに努力することは、いつの時代にも尊ば
れる価値であり、高畠の子ども達の芯を貫くもの
であってほしいと願っています。現在小・中学校
とも充実した教育活動が展開され、「高畠町幼・小・
中連携『めざす子ども像』」を掲げ、地域・学校・
保護者（PTA）が一体となって取り組み、現在
は、「挨拶・読書・手伝い」に力を入れています。

Q2. 平成28年度開校した「新生高畠中」の状況を
お聞かせください。

A2. わが町の未来を担う中学生のために、最適な教
育環境を整備したいという願いのもと、今後の出
生数も考慮し、町内4つの中学校を1校に統合
し4年目を迎えました。新設校は、全天候型の

米沢有為会を 支援します



(株)タスクフーズ
代表取締役
宮坂 宏
みやざき ひろし

弊社は今年で創業171年を迎えた食品製造業で、「鯉の宮坂」として鯉料理の製造販売を行ってまいりました。

しかし、平成14年に全国で発生したコイヘルペスウイルスの風評被害が甚大で、これを機に平成16年には「タスクフーズ」と商号を変更し、米沢牛をはじめとする山形県産の食肉加工製品の製造販売事業を立ち上げました。その結果、全くのゼロから始めた食肉加工部門ですが、3年前から鯉製品のシェアを超えるようになりました。このように新事業に参入し成果を残せたのは、弊社のコアコンピタンスともいえるべき「老舗の煮炊きの技」「無添加と厳選素材、手づくりへのこだわり」「スピーディーな商品開発力」にあったと言えます。

また、平成29年には、翌年4月オープンする「道の駅米沢」におけるラーメン店と蕎麦店の2ブースの運営を担当されました。結局手を上げたお店が1店もなかったため、弊社が受託することになったのです。ラーメ

ンや蕎麦をつくるには全くのど素人集団でしたが、プロジェクトチームを立ち上げ、伝統的な米沢ラーメンとつなぎ無しの十割蕎麦を、それぞれ本格的な専門店の味で提供することを目指しました。そして現在では、ラーメン系は年間10万食を提供し、蕎麦も本店はどこなのかと尋ねられるような人気店となりました。ここに至るまで苦労は尽きませんでした。ここが、今ではチャレンジして良かったと感じております。

さて、米沢有為会では、息子2人が仙台と東京興譲館で大変お世話になり、親子共々感謝の念に堪えません。また、私は米沢支部役員の末席を汚しておりますが、本年は名前だけの役員ではなく、これまでのご恩返しの意味も含めて、本会の活動目的の一つである郷土の産業振興へ寄与できるよう努力致します。今後ともご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。



編集後記

★地球温暖化の影響か、全国的に記録的な暖冬の中、本会創立130周年記念行事の最後を飾る「地域未来を拓く若人フォーラムin置賜」が1月11日(土)、米沢市市民文化会館で開催されました。急激な人口減少が進行する中、この行事には、「高校生小論文コンテスト」に次いで、この地で将来を生きようとする若人への

熱い期待が込められています。約450名の参加者は、若人と高校生5名による地域の活力ある未来を目指すパネルディスカッションと、6高校代表の探求型学習成果発表会に熱心に聞き入っていました。また、ナセBA市民ギャラリーでは、9日間にわたって13高校と3中学校の特色ある展示発表が行われました。(手)

米沢有為会育英事業の 寮 生 募 集

これだけ便利・これだけ安い・これだけ快適!!

置賜地域3市5町の在住者・出身者のお子さんを対象に募集しています。

— 今回は大学合格前に予約内定する予約募集も行います。 —

- ◎「東京興譲館」寮は新宿駅から約40分。「仙台興譲館」寮は市街地まで約3km。
- ◎居室は「東京興譲館」寮、「仙台興譲館」寮ともすべて個室です。
- ◎企業の採用担当者は寮生活経験者を評価しており、好印象を持っておられます。(寮生活で協調性やコミュニケーション能力が身についているから。)
- アパートで生活する場合
東京(郊外)で5.5万円～6.5万円。他に食費、光熱水費などを含め仕送り額が10万円程度になることも。
仙台では4万円～5万円。他に食費、光熱水費などを含め仕送り額が8～9万円。

	「東京興譲館」寮	「仙台興譲館」寮
資 格	大学、短大、専門学校及び大学院の在学学生、又は入学予定者(男子のみ)	
寮費(月額)	48,000円 朝夕2食付光熱費含む (日曜日・祝日は除く) 入寮費38,000円(初年度のみ)	夏季(4～11月)42,000円程度 冬季(12～3月)44,000円程度 朝夕2食付光熱費含む (日曜日・祝日は除く)
募 集 人 員	予約募集 4名程度 (大学合格前に予約内定する者) 通常募集 4名程度 (大学合格後に入寮決定者)	予約募集 2名程度 (大学合格前に予約内定する者) 通常募集 3名程度 (大学合格後に入寮決定者)
面 接 日	○予約募集 3月1日(米沢) ○通常募集 1月12日(東京) 3月1日(米沢) 3月10日(米沢) 3月21日(東京)	○予約募集 3月1日(米沢) ○通常募集 1月12日(仙台) 3月1日(米沢) 3月10日(米沢) 3月23日(仙台)
面 接 場 所	(米沢)は置賜総合文化センター、(東京)は「東京興譲館」寮、(仙台)は「仙台興譲館」寮です。	

詳しくはホームページをご覧ください。

米沢有為会

検索